

【主な内容】

- 2… <座談会>憲法9条を生かすたい流れを
- 6… 青年探偵団⑤「夢咲トンネル」に潜入
- 7… 勝手に吹田遺産④「千里タイムス」
- 8… 着々進む操業準備・東御旅町産廃施設
- 10… 吹田市民の戦争史③森義輔さん
- 11… マスコミ報道から消えたイラクの実態
- 12… “うめかも”吹田移転は今
- 14… 戦火に散ったアスリートの鷗清一



画・高宮良子

阪急 山田駅

山田地域には、戦争で閉鎖せられたゴルフ場と地下弾薬庫がありました。「戦争の爪あと」は、身近な所にも残っているのですね。

●表紙のことは

「こんにちは、こんにちは…大阪万博からすでに37年が経過した。阪急千里線山田駅の前身は「万国博西口駅」という臨時駅。現在の山田駅より北へ300メートル、駅と万博会場の間には長さ110メートルの通路橋がかかけられ、入場者は一般道路に出ることなく、万博会場へと歩いていった。

現在の場所に山田駅ができたのは1974年、万博記念公園で「中華人民共和国博覧会」が開催され、その最寄り駅としてスタートしたのだ。(以上、阪急電車めぐり参照)その後の山田駅の発展、ふりは目を見張るばかり。かつて山田駅の裏側にはうっそうとした竹林とため池があり、その池に吹田の固有種と思われるメダカが生息していた。竹林とため池は、今や高層マンションに変わり、何もなかった駅前に大型スーパーがやって来た。

かつて山田地域にはパブリックゴルフ場があった。「昭和10年6月完成。9ホール、2115ヤード、料金は1ラウンド50銭。関西におけるゴルフ熱は、この山田に始まったのである」(同・駅めぐりより)

ゴルフ場は第2次世界大戦で閉鎖。おそらく「敵性スポーツ」で「ぜいたくは敵」だったのだろう。ゴルフ場跡地は芋畑、麦畑となり、現在は千里ニュータウンの敷地となっている。

ゴルフ場と並んであまり知られていないのが、山田地下弾薬庫である。戦争中、山田地域に海軍が地下弾薬庫を作っていた。弾薬庫は万博の建造によって破壊され、現在はエキスポランドの地下に眠っている。

山田駅といえば千里線の中で数少ない「乗換駅」だ。大阪モノレール、千里中央〜南茨木間の開業が1990年、その後モノレールは大阪空港〜門真まで延伸され、1998年には営業キロ世界一としてギネスに認定されている。

通勤、通学で何気なく利用する山田駅であるが、歴史を振り返ると意外にも「戦争の爪あと」があまりだされてくるのである。